

FNo.5・5・1（丙）

平成28年6月17日

渋沢丘陵を考える会 代表 日置乃武子 様
秦野の自然と環境を守る会 代表 山本とし子 様
秦野のホテルを守る会 会長 吉田 嗣郎 様
丹沢・未来プロジェクト 代表 栗原 孝司 様
さんげつ会 事務局 山田 芳枝 様

秦野市長 古谷 義幸



渋沢地区・霊園工事区域におけるノスリの営巣放棄の原因究明及び保護対策の緊急見直しについて（回答）

2016年6月10日付で要望のありました標記の件につきまして、次のとおり回答いたします。

1 昨年営巣した巣の現状把握

【回答】

昨年は、一番のノスリが計画地近くに営巣し、1羽の雛が無事、巣立ちを迎えることができました。今年度につきましては、飛翔は確認されているものの昨年度の巣での営巣は現時点では確認できていません。

今後につきましては、周辺で営巣を行っている可能性もあるため、しかるべき時期に確認が可能であれば事業者や神奈川県とも調整していきたいと考えております。

2 営巣しなかったことへの原因究明と保護対策の見直し

【回答】

事業者は、猛禽類の調査を毎年実施していますが、引き続き実施されるモニタリング調査の結果を勘案するとともに、県とも連携を強化しながら指導に当たっていきます。

今後においても、これまでと同様に、工事が猛禽類の繁殖に及ぼす影響を最小限にするよう、継続して指導してまいります。